

静岡コンテスト Q & A

制定 2023年2月1日

改定1 2024年2月1日

(A-3、A-11、Q-40/A-40 修正)

JARL 静岡県支部コンテスト委員会

■ログ提出について

Q-1 : 複数種目への書類提出は、いかなる場合でも認められないのでしょうか？

A-1 : 認められません。参加者は、いずれか1種目のみに書類提出してください。
複数の局の免許を受けている場合も、いずれかの1局についてのみ提出できます。

Q-2 : 電子ログの提出が完了した後で、間違いを見つけました。提出のやり直しはできるのでしょうか？

A-2 : 提出期間内に、修正したものを再度送信してください。同一局から再送があった場合には、提出日時の最も遅いもののみを採用して審査しますので、問題ありません。

Q-3 : 電子ログを提出したが、すぐに受付完了通知が来ないが、どうしてですか？

A-3 : JARL 本部とはちがい、受付担当が目視後に個別に返信メールを送出しているため、時間がかかります。
また、JARL 本部のような『参考情報』などは提供できません。
電子ログ受付状況をホームページに掲載していますので、確認してください（ほぼ毎日更新しています）。
受付完了通知は提出後、数日～1週間程度はかかりますので、受付状況を確認してお待ちください。
~~提出後3日経っても受付完了通知が届かない場合は、問い合わせてください。~~

Q-4 : 電子ログについて何か注意事項がありますか？

A-4 : 残念ながら電子ログには非常に多くの誤りが認められます。提出前にホームページに掲載の『**電子ログ提出上の注意事項**』を見てよく確認してから提出してください。

代表的なものは以下の通りです（詳細は『電子ログ提出上の注意事項』参照）。

- ・全角文字は可能な限り使用しないようにしてください（特に全角スペースは絶対に不可）。
- ・英数字は半角大文字としてください（小文字はメールアドレスを除き、不可）。
- ・コントロールタグに誤りはないか（文字・記号などの一部欠落など）？
- ・バンド呼称に注意してください（『1.8』は不可、『1.9』としてください など）。
- ・ログシート部では

1 交信のデータは1行に（全項目を過不足なく）記載してください。

交信の通しNoなどの記載や、見やすくするための罫線などの記載は不可です。

バンド（周波数）は『7』のようにしてください（『7.075』のような表示は不可）。

送信コンテストNoなどに間違いはないか？ 『591801』などは不可、記載がない場合も多い。

マルチや得点は（省略しないで）記載されているか？

マルチはNEW マルチの場合は略符号や都府県支庁ナンバーを、そうでない場合は『-』と記載してください。

Q-5 : 電子ログは、JARL 様式で最新の SUMMARYSHEET VERSION=R2.1 で提出してもよいのでしょうか？

A-5 : 静岡コンテストでは**旧版の VER R1.0 を推奨**しており、最新の VER R2.0 や VER R2.1 は推奨しておりません。
またログシート部の得点とマルチは省略しないで必ず記載してください。
理由は審査に必要な項目が不足しているからです。
最新の VER R2.0 や VER R2.1 でも受け付けますが、ご協力をお願いします。

Q-6 : Cabrillo 形式でのログ提出は可能でしょうか？

A-6 : 基本的には、JARL 様式のログのみ受け付けています。

Cabrillo 形式の電子ログはこちらの処理システムが十分には対応できておりません。

やむを得ない場合は、サマリーシート部は JARL 様式とし、ログシート部のみ Cabrillo 形式として下さい。

一応処理してみますが、約束はできかねます（処理できない場合は JARL 様式で再提出をお願いすることになります）。なお、この場合に限り、ログシート部の時刻は UTC で記載してください。

Q-7 : ログシートの時間を UTC で出してもよいのでしょうか？

A-7 : 国内コンテストですので、UTC の時間表示は認めていません。JST の時間表示にて提出してください。

Q-8 : 重複交信局をログシートに記載しても構わないでしょうか。

A-8 : 重複交信局は消さずに、得点を『0』にして記載してください。
逆に、重複交信の記述を削除してはいけません。

Q-9 : シングルバンド種目にログ提出をしますが、他のバンドでも交信しました。
どのようにして提出すればよいのでしょうか？

A-9 : エントリー以外の、他のバンドの交信も全てログに記載して提出してください。

得点やマルチの計算はエントリーバンドの交信を対象に行ってください。

他のバンドはいわゆるチェックログ扱いとし、サマリー部は得点とマルチを『0』とし、ログシート部は交信毎の得点は『0』、マルチは『-』としてください。

(このような処理をしていなくても審査で『0』として評価しますが、オールバンド種目の間違いでは？ との確認が必要になりますので、**意見欄に『〇〇以外のバンドはチェックログ』のように記載**していただくと助かります)

なお、JARL 本部では 2022 年 9 月以降、『ログに「#CHECKLOG」と記載された行以降は、スコアにカウントされなくなります。』とされていますが、静岡コンテストでは対応できませんので、使用しないでください。

(「#CHECKLOG」と記載されますと、イレギュラーな行があるので、処理が途中で止まってしまいます)

Q-10 : 電子ログの提出の際、メールの本文として送信するのではなくて、添付ファイルとして送ってはだめでしょうか？

A-10 : 問題ありません。テキストファイルを添付して送ることが出来ます。

Q-11 : 電子ログでなく、紙ログで提出してもよいのでしょうか？

A-11 : **できるだけ電子ログで提出**してください。

特に交信局数が 50 局を超える場合は**必ず電子ログで提出してください (紙ログは受け付けません)**。

(コンテスト中に作成したログを電子ログ化する作業を知人などに依頼や助力を求めることは認めています)

紙ログで提出する場合の注意事項は次の通りです。(ホームページに掲載の記入例を参照)

- ・封筒の表に参加部門・種目コードナンバーを記載してください。
- ・サマリーシートおよびログシートは A 4 版 J A R L 様式または同形式に限ります。
ログシートは電波型式欄がなくバンド (周波数) はページで一括指定の旧様式の使用も認めますが、欄外に電波型式 (CW、SSB、FM の別) を記載してください。
- ・ログシートは**バンド毎に分けて記載し、同一バンド内は時刻順に記載**してください。
- ・ログシートの得点とマルチは、省略しないで必ず記載してください。
マルチは、NEW マルチの交信の場合にのみ、市区町略符号 (A0 など) や都府県支庁ナンバー (10 など) を記載してください (『1』のような記載は不可です)。
~~・1 バンド 50 局を超える交信の場合は、バンドごとに重複交信と重複マルチのチェックリストを作成し添付してください。~~

Q-12 : プリフィックスが 8J あるいは 8N の局でのエントリーについて問題ないのでしょうか？

A-12 : 一般的には問題ありません。

ただし、JARL の開設する特別局や特別記念局の場合はエントリーしてもチェックログ扱いとなり、順位は付きません。

Q-13 : プリフィックスが 8J や 8N の特別局や特別記念局と交信しました。得点やマルチはどうなりますか？

A-13 : 他の局との交信と同じように、得点やマルチを計上してください。

Q-14 : 国外の局と交信しました。どのように扱えばよいのでしょうか？

A-14 : 静岡コンテストは国内コンテストですので、国外局との交信は対象にはなりませんので、ログシートなどには記載しないでください。

Q-15 : サマリーシートのコールサインはどのように記載すればよろしいでしょうか？

A-15 : コールサインは以下の例のように記載してください。

	一般局	QRP局
常置場所・設置場所運用局	JX2XXX	JX2XXX/QRP
移動運用局	JX2XXX/2	JX2XXX/2/QRP

Q-16 : 無線局の常置場所で運用したが、連絡先住所が常置場所とは異なる場合はどのように記載すればよいか？

A-16 : 連絡先住所が無線局の常置場所と同じ場合は、連絡先住所に常置場所を記載し、運用地は空欄として下さい。異なる場合は、運用地を『常置場所』とし、続けて常置場所の住所を記載してください。『設置場所』の場合も、同様です。(2' nd シャックなどの場合など、注意してください)

Q-17 : 移動運用した場合の運用地はどのように記載すればよいか？

A-17 : 運用地は、実際の運用地がある程度特定できるように、『静岡市葵区〇〇町』『静岡市葵区〇〇公園』『静岡市葵区〇〇高校校庭』のように記載していただければよいです。

Q-18 : 社団局の署名は、コンテスト担当者の署名(捺印)でもよいでしょうか？

A-18 : 社団としての公式書類ですので、署名(捺印)は(無線局免許状に記載されている)社団の代表者の署名(捺印)でなければなりません。コンテスト担当者と社団代表者が異なる場合は、連絡先住所欄に住所に続けてコンテスト担当者の氏名を記載してください。

Q-19 : 電話やE-mailは記載しなければなりませんか？

A-19 : 審査の過程で問い合わせが必要な場合があるので、電話・E-mailともに記載してください。また、入賞された場合は、賞状を電子化されたPDFファイルでお送りするので、E-mailは必要です。

Q-20 : 私は複数の登録クラブに所属しております。サマリーシートの登録クラブはどのように記載すれば？

A-20 : 登録クラブの記載は『登録クラブ対抗』のために記載します。複数の登録クラブに所属していても、一つのクラブにしか計上できませんので、どれか一つを選んで記載してください。

Q-21 : 書類の締切は『コンテスト終了後14日』で、かつ『消印有効』となっておりますが、もっと早くして、結果発表を早められないでしょうか？ちなみに、JARL本部はコンテスト終了後『10日』で締切で、かつ『必着』にして、結果発表を極力早くしています。

A-21 : 静岡コンテストではできるだけ電子ログで提出していただきたいので、電子ログに不慣れな局のために若干長めのままにしています。

また、2021年の郵便改革(①土曜配達中止、②翌日配達中止、③夜間作業中止)の影響で、例えば木曜日に投函すると早くても翌月曜日配達で4日はかかり、祝日などがあるとその分さらに遅くなります。

現在は『同一市内宛でも配達されるまでに8日ぐらにかかるとは当たり前で、もっとかかる場合もあります』の状況で、『急ぐ場合は速達どうぞ』となっております。

そのため、結果発表の迅速化を多少犠牲にしても、従来通り『消印有効』のままとしています。

■運用について

Q-31 : コンテストの終了時刻が20:00の場合、20:00:59までコンテストの運用をしてよいでしょうか？
また、ログシートに20:00と記載しても問題ないでしょうか？

A-31 : コンテストは、20:00:00に『なった時点』で『瞬間的』に終了となりますので、不可です。
終了時刻は、前後に幅のない『瞬間の時刻』を示しています。
具体的にはログシートに記載するTIME欄は、19:59が最後になります。
これは19:59台に行われたQSOという意味で、一般的に記述されるTIME表記です。
時刻が20:00と記載された交信は、20:00:00になるまでにQSOが終了していなかったと判断されるので、無効となります。
なお、開始時刻が17:00の場合、17:00と記載された交信は有効です。

Q-32 : コンテスト中に運用場所を変更することは出来ますか？

A-32 : コンテスト開始時とマルチプレイヤーが変わる場合は不可です。
マルチプレイヤーが変わらない範囲での運用場所の変更は、可能です。
この場合、サマリーシートの意見欄に移動地とその場所での運用時間を記載してください。
[例] ○○時までには○○市○○で、それ以降は○○市××で運用
また、移動運用時には、コールサインにポータブル表示『/』を必ずつけて送出してください。
常置場所（あるいは設置場所）と移動運用の混在での運用も認めますが、常置場所（あるいは設置場所）での運用にはコールサインにポータブル表示『/』をつけないで送出してください。ただし、サマリーシート記載のコールサインはポータブル表示『/』をつけてください。

Q-33 : 移動局の『/』（ポータブル表示）送出について教えてください。

A-33 : 移動局の場合は、必ずポータブル表示『/』をつけて送出してください。
サマリーシートのコールサインも同様に、必ず『/』をつけてください。
【参考】 審査でマルチの正当性で無効交信と判定する怖れがありますので、必ず『/』をつけてください。
静岡コンテストでは、『規定されていないマルチ』の交信は無効交信として得点やマルチを認めていません。
コールサイン（移動局にあつてはポータブル表示）のエリアなどで、該当しない略符号や都府県支庁ナンバーのマルチの交信は無効交信と判定しています。

Q-34 : MM (Maritime Mobile) 局の参加できますか？

A-34 : MM (Maritime Mobile) 局は、領海内でも海の所属自治体が明確ではないので、参加できません。
なお、港や河川・湖等に停泊して運用することは『一般の移動局』として参加可能です (MM としない)。

Q-35 : 出力1W以下でQRP運用したが、ときどき1Wを超える出力で交信しました。
「QRP局」として認められますか？

A-35 : 認められません。「QRP局」はコンテスト中の全交信をQRP (出力1W以下) でしないとけません。

Q-36 : 出力1W超過の一般局として参加しましたが、数局だけ1W以下で運用し、コールサインに『/QRP』をつけて送出しました。何か問題はありますか？ また、その交信の得点は2倍にできますか？

A-36 : コールサインに『/QRP』をつけて送出してはいけません。また、得点を2倍にはできません。
『すべての交信を1W以下で交信』する場合にのみ、「QRP局」としての扱いを受けられます。

Q-37 : 「QRP局」でコンテストに参加しましたが、エントリーしていないバンドで、コンテスト参加局にサービスするために50Wで運用しました。問題はありますか？

A-37 : エントリーしたバンドでの「QRP局」として認めます。
ただし、サービスで交信した部分もチェックログ (得点やマルチを『0』や『-』とする) としてログシートに記載し、サマリーシートの意見欄にその旨とその際に使用したリグと出力を記載してください。
なお、エントリーしたバンドでの1W超過での運用は一切認められません。(1交信でもあれば、一般局として扱います)

Q-38 : 出力 1W 以下で QRP 運用しましたが、コールサイン送出時に『/QRP』をつけ忘れまして。
「QRP 局」として認められますか？

A-38 : 認められません。得点を 2 倍にすることもできません。

Q-39 : シングルオペオールバンド種目に QRP で参加したいが、1200MHz 帯以上の交信はどのようにすれば？

A-39 : 430MHz 帯以下では（エントリーする全バンドで）出力 1W 以下で運用し、コールサインは『/QRP』をつけて送出してください。（ただし、特定のバンドを出力 1W 超過で運用することはできません）
1200MHz 帯以上では免許の範囲の出力で運用し、コールサインには『/QRP』をつけないで送出し、得点はバンド毎に決められた得点としてください（これらのバンドの得点は 2 倍にはできません）。

Q-40 : QRP 局のサマリーシートの 使用した設備や出力 への記載はどのようにすれば？

また、無線機の送信出力を調整して、「QRP 局」として参加は出来ますか？

A-40 : 送信機の出力を内部あるいは外部に取り付けた出力計などで実測し、1W 以下に低減して運用すれば可能です。
ただし、送信機とアンテナの間にアッテネータ（減衰器）を入れての運用は QRP としては認めていません。
なお、『異議申し立て』などに備えて写真を撮るなど、証拠を残すようにして下さい。

サマリーシートの 使用した設備や出力 は以下のように記載してください。

記載内容に虚偽が認められる場合は、失格や過去の入賞の取消など厳しい処分をしますので、十分に注意して正直に、正確に記載してください。

①定格出力が 1W 以下の送信機で運用の場合

- ・電子ログの場合 機器の定格出力を<POWER>1</POWER>のように、<POWERTYPE>定格出力</POWERTYPE>、<EQUIPMENT>機器の形式、アンテナの地上高と形式</EQUIPMENT> のように記載
- ・紙ログの場合は『コンテスト中使用了最大電力』を 1W などとし、『定格出力』にチェックを入れ、『使用した設備』に同様に機器の形式、アンテナの地上高と形式などを記載

注意 メーカーの仕様書や取扱説明書に複数の出力が記載されている場合は、その最大のものを定格出力とします。それより小さい出力は、『低減出力』とします。（②の要領で記載してください）

ただし、仕様書や取扱説明書で、特定の電池パックとの組み合わせで出力が規定されている場合は<POWER>1</POWER>、<POWERTYPE>定格出力</POWERTYPE>、<EQUIPMENT>機器の形式・電池パック〇〇と組み合わせで運用、アンテナの地上高と形式</EQUIPMENT> のように記載

②送信機の出力を絞って、低減出力で運用した場合

- ・電子ログの場合

【例 1】出力を実測し、<POWER>0.8</POWER>、<POWERTYPE>実測出力</POWERTYPE>、<EQUIPMENT>IC-9700 低減出力で運用、外部の出力計で 0.8W 確認 8m 高 GP アンテナ</EQUIPMENT> のように記載

【例 2】外部出力計での確認が現実的ではない最近のハンディ機などでは、出力設定と内蔵出力計での確認でも認めます。

<POWER>1</POWER>、<POWERTYPE>実測出力</POWERTYPE>、<EQUIPMENT>IC-D52 出力設定 Low2・1.0W で運用、内蔵出力計で確認 付属ホイップアンテナ</EQUIPMENT> のように記載

- ・紙ログの場合は同様に出力を実測し、『コンテスト中使用了最大電力』を 0.8W のようにして、『実測出力』にチェックを入れ、『使用した設備』には、IC-9700 低減出力で運用、外部の出力計で 0.8W 確認 8m 高 GP アンテナ のように記載

注意 メーカーの仕様書や取扱説明書で、出力範囲の下限が『1W 超』になっている場合は、原則として QRP としては認めません。

【例 1】 IC-910D は取扱説明書に出力は『2.5~50W』とされているので認めません。

【例 2】 IC-9700 は取扱説明書に出力は『0.5~50W』とされているので認めます。

③自作送信機の場合

- ・出力計で送信出力を実測してください。
- ・『使用した設備』は 自作、終段の形式〇〇・電圧〇〇V と記載してください。

Q-41 : シングルオペとマルチオペの違いについて教えてください。

A-41 : シングルオペの定義は、『コンテストに関わる全ての操作を一人で行うこと』を原則としています。

以下の行為は、マルチオペと見なされますので、サマリーシートの意見欄にその旨を記載してください。

- ① 送信・受信の操作は全て一人で行ったが、リアルタイムでのロギングを別の人が行った。

- ② 送信・受信の操作は全て一人で行ったが、リアルタイムでのアンテナの方向変換を別の人が行った。
- ③ マイクコントロールなど第三者の助けを借りて運用した。
- ④ 同一周波数を複数の局で相互に譲り合いながら運用した。

なお、『初心者への指導と認められる範囲のアドバイスなど』と『コンテスト終了後にサマリーシートやログシートを電子化するために家族や友人に手伝ってもらうこと』は違反とはなりません。

Q-42 : コンテストにはログを提出しませんが、参加している友人に交信してコンテストナンバーを送りたいのですが、違反となりますでしょうか？

A-42 : 特に違反行為とは見なしておりません。

ただ、『予め計画された交信』や『作為的な交信』と認められる場合は違反となります。

下記のような場合は違反となり、該当交信は減点となります。

- ① 同一免許人による違うコールサインでの交信を作為的に計上することは、無効交信となります。
- ② 特定局の得点を高めるための運用と認められる場合は、『事前に計画された交信』として、無効交信となります。
- ③ A 社団局でマルチオペ種目に参加した運用者 B が、B 個人のコールサインなどの A とは異なるコールサインで、**運用したマルチオペの A 社団局と交信した場合は無効交信**となります。このような交信が多数見受けられる場合は、失格などの厳しい処分の対象になります。

Q-43 : マルチオペ種目に A 社団局に B 運用者として参加し、その後、B 個人のコールサインでシングルオペ種目に参加しましたが、書類提出して認められますか？

A-43 : A 社団局、個人局 B とも認められます。

ただし、この **2 局相互間での交信は禁止**します（恣意的な得点向上策と判断します）。

著しい場合は失格とする場合がありますので注意してください。

また、C 社団局を D 運用者のみが運用したシングルオペの場合、C 社団局と D 個人のコールサインの両方での書類提出は認められません（複数種目への書類提出に該当します）。

Q-44 : コンテスト中に

- ① SNS に『7.065MHz SSB でコンテストに参加していますので呼んでください』と書いて、すぐに消しましたが、問題はありますか？
- ② 144MHz 帯 FM で同様の声かけをしましたが、問題はありますか？
- ③ 携帯電話などを使用し、『21.350MHz で運用していますので、呼んでください』と友人等に電話をして、ナンバー交換を要請しましたが、問題はありますか？
- ④ J-クラスターに『静岡コンテスト』とは書かないで、『7.070MHz SSB で静岡市葵区から運用中』と書き込みましたが、違反になりますか？

また、自分では書き込まないで知人に書き込んでもらった場合はどうなりますか？

A-44 : コンテスト中であれば、①②③④（④はどちらも）ともに違反で、失格になります。

コンテストの直前も、問題にせざるを得ないので、避けてください。

他人が同様のことをした場合も、問題として取り上げざるを得ないので、避けてください。

なお、コンテストの前日まで、『明日、静岡市葵区から 7MHz SSB で静岡コンテストに参加します』のレベルの書き込みは（具体的な運用周波数が記載されていなければ）容認します。

ただし、コンテスト中の書き込みは禁止で、コンテスト当日の書き込みも避けてください。

Q-45 : コンテスト運用中に

- ① 7.020MHz CW で交信中に、交信相手局に『QSY 1R810 ?』と 1.810MHz に周波数変更を要請して交信することは違反になりますか？
- ② マルチオペ参加局で運用者 A が 7.070MHz SSB で交信中に、交信相手局に『(運用者 B が) 21.360MHz SSB で出ているのでそちらでも交信を！』と依頼した場合はどうですか？

A-45 : ① は『運用情報を他者に伝える行為』ではなく、『交信バンドの変更を提案している行為』なので、違反にはなりません。

② は『運用情報を他者に伝える行為』になるので、違反になります。

■その他

Q-51 : 禁止事項に違反した場合はどうなりますか？

A-51 : 基本的には『失格』になります。

失格になると、虚偽交信や故意の違反など悪質な行為と認められる場合は、以後3年間は静岡コンテストに参加することを認めません。また、過去にさかのぼって『入賞』などを取り消す場合があります。

過失による違反と認められるなど悪質でない違反行為の場合は、事情により、静岡コンテストに参加は認めますが、以後3年間は参加しても入賞を認めないなどの場合があります。

Q-52 : 注意事項に従わなかったり、自粛事項に従わないで自粛しなかった場合はどうなりますか？

A-52 : 軽微な場合や故意ではないと認められる場合は、減点したり、チェックログ扱いにしたり、入賞を認めない場合などがあります。

故意によるなど悪質な行為と認められる場合は、『失格』などになる場合があります。

また、事情によっては、提出書類の『取り下げ』を勧告する場合があります。

Q-53 : 発表された結果に対して異議がある場合、異議申し立てはどのようにすれば？

A-53 : 結果発表後1週間以内（期限は結果発表時に指定する）に、下記事項を明記してメールでコンテスト委員会に申し立ててください。

①異議の具体的な内容

②申し立て者のコールサイン、氏名、連絡先（メールアドレスと電話番号）

③証拠や指摘事項を証明する資料などを添付

これらが揃っていない場合は、具体的な調査が困難なため、異議申し立てとして受け付けることはできません（申し立て者の個人情報である②は、確認や調査のための連絡にのみに使用します）。

なお、異議申し立てに値するような違反行為などを確認された場合は、結果発表を待たずに同様に①②③を揃えてコンテスト委員会にご連絡いただくと助かります（調査時間確保などのため）。

Q-54 : 審査の方針やポイントについて教えてください。

A-54 : 静岡コンテストは『①コンテストの楽しみを広く皆様に味わってもらい、簡単に入賞できる種目も設けてコンテストを楽しむ人口を増やす。 ②ベテラン（いわゆるコンテスターなど）にもそれなりに楽しんでいただけるコンテスト』を目指しております。

審査は『初心者には誤りがあれば指摘して修正を求めるなどの指導に努め、ベテランには誤りや違反などには厳格に対処し、特に虚偽は絶対に見逃さない』を基本方針にしています。

このため、『正確』で『公正』、『公平』な審査に努め、実際には以下のようにしています。

なお、紙ログでは十分には正確な審査が困難ですので、**電子ログでの提出を推奨**しております。

・提出された個々の書類で、個別に適否を審査しています。

（全部の書類の交信データをまとめて相互に突き合わせる、いわゆるクロスチェックなどは、疑義がある場合以外にはしていません）

・電子ログはコンピュータによる審査システムで正確性、公平性を確保しています。

紙ログは審査担当委員による目視チェックで審査しています。

・存在しない（免許されていない）コールサインとの交信は、（総務省の無線局免許情報検索などで確認するような）厳格なチェックはしていませんが、明らかにわかる場合は無効交信としています。

【例】JS5XXX 7N6XXX JA1XXXX これらは容易に免許されていないとわかる → 無効交信

JJA1XXX 初心者はJA1XXXと判断し、それ以外は無効交信と判断（若干公平ではないが・・・）

・**マルチの適否はチェック**しており、規定されていない略符号や都府県支庁ナンバーなどの場合は無効交信として処理します（無効交信の得点やマルチを認めない）。

相手局のコールサインのエリア（移動局の場合は移動エリア）に該当しない場合も、無効交信としています。

・虚偽交信が疑われる交信が含まれている場合は、徹底的に調査します。

静岡コンテストに参加していないことが明らかな局との交信が認められる。

技術的に無理と思われるような交信が認められる。

など